

懇談会特集

第4号

最終号

統合懇談会を開催

西脇東中学校と黒田庄中学校の統合に向けて

▶問合せ 学校適正推進課（市役所内線4024）

学校敷地外の

強みの重要要因を整理

第6回統合懇談会では、委員から質問のあった将来の中学校部活動地域移行や、校舎活用の際、想定される改修コストなどについて説明しました。その後は前回に引き続いて、両学校の敷地外環境の強みについて重要な要因を整理しました。両地区の委員が協力しながら、各グループで協議した内容を壁面に整理して確認しました。



委員からは「城山公園が近く、学習や部活動の幅が広がる」や「地元企業が多くトライやるウィークで協力が得られる」「周辺道路が整備されていて、通学路が安全」「JRの駅が近く、移動がスムーズで利便性が高い」といった意見が出されました。

全7回の統合懇談会で、委員から出された意見などを最終の成果物としてまとめ、教育委員会へ報告します。また、8月下旬以降に比延地区、黒田庄地区の保護者、地域住民（無作為抽出）に意向調査を郵送しています。調査票が届いた方は、調査へご協力をお願いします。市教委は懇談会の意見や意向調査の結果などを鑑み、10月をめどに最終的にどちらの学校を活用するか、結論を出す予定としています。

また、統合の必要性や通学支援など統合懇談会で説明した内容について、都合の良いときに視聴していただける説明動画を配信しています＝QRコード。分からない点などがありましたら、質問も受け付けていますので、ぜひご覧ください。配信は9月30日（月）までの予定です。



フリーディスカッションと

両校の強みを順位付け

最終回となる第7回統合懇談会では、前回に引き続き個人で出したテーマについてグループでいくつか選び、フリーディスカッションを行いました。

また、ディスカッション終了後は、これまで意見交換をしてきた両校の強みについて順位付けを行い、意見を整理しました。



全体を通じた感想として「統合懇談会に参加し、両校の良さや子どもの良好な教育環境について協議することの大切さが分かった」「学校の判断基準を明確にしてほしい」「説明会を開催して、保護者が意見を言える機会をつくってほしい」といった声が聞かれました。